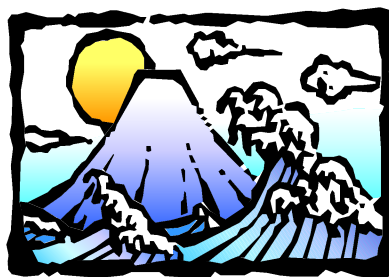




頌春

今年もよろしくお祈りします



2016年（平成28年）を迎えました。
昨年は2学年の一員として緑高祭、クラスマッチ、緑歩会、そして修学旅行・海外研修と充実した学校生活を満喫した年だったことと思います。
今年は、みなさんにとって勝負の年です。みなさんが受験する大学入試センター試験は平成29年1月14日・15日に実施されます。あと1年と6日です。昨年12月の進路研究会で話しましたが、大学受験を考えると3年生は既にスタートしています。
みなさんは、進路目標実現へモチベーションを高め、本当の受験生へ脱皮していかなければいけません。誰にでも受験まで残された時間は平等です。その時間をどのように有効に生かしていくのが、進路実現のカギを握っています。次のことを心がけて自分の進路実現に向けて、まずアクションを起こしましょう。

授業勝負で学力・集中力を高めよう。



みなさんに知っていてほしいことは、センター試験は1日目は9時30分から18時10分まで、2日目が9時30分から17時40分までという長い試験だということです。当然、集中力を持続することが重要になってきます。

集中力というのは短期間に身に付くものではありません。毎日の授業（1日55分×6時間）に真剣に取り組むことの積み重ねによって身に付けることができます。ですからこれからみなさんは授業中居眠りをしていたり、ぼーっとしている暇はもうありません。これからは授業勝負で、学力と集中力を高めてゆきましょう。

志望校の研究を始めよう

12月の進路研究会でも学びましたが、特に国公立大学の入試制度は複雑です。まずは志望大学の入試科目を把握することから始めましょう。その時、センター試験重視か、2次試験重視か、傾斜配点はあるのか、自分の得意科目を活かせるのかということをよくチェックして戦略的に研究してゆくことが大切です。

入試科目の把握には各大学のHPやクラスにある「大学受験年鑑」（旺文社）で調べるといいでしょう。但し、入試科目は来年度変更されることもあるので注意が必要です。また教育学部も学科によって細かく分かれているので注意が必要です。

自分がこれから大学で何を学びたいのかを考えるとところから始める人は「大学学部学科案内号」（旺文社）を見ていくとよいでしょう。どのような学科があり、どのようなことを学ぶことができるのかが一目でわかります。

また、11月に初めての5教科の進研模試を行いました。その結果を見て戦意喪失というわけではないでしょうが、「どこでもいいから自分が入れる大学がないかどうか」を探している人はいませんか。自分が本当にその大学に入りたいと思うのなら、第一番目にやることは、入れる大学を探すのではなく、入りたい大学に入れるように努力することです。自分の目標を下げることをしても決していい結果は得られません。これまでの先輩の例を見ても志望校のランクを下げると結局それ以下の学校にしか、合格はできないことが多いようです。

模擬試験は目的意識を持って受けよう



1月15日・16日に進研の記述模試が、2月19日・20日には初めてのマークシート式の模試であるセンター早期模試行われます。今後の模擬試験は今までのように結果を見て「偏差値が前回より上がった下がった」と一喜一憂するだけではいけません。しっかりと目的意識を持って受験することが大切です。

まず、センター試験では自己採点が非常に大切になってきますから、（その理由は12月の進路研究会で学びました。）必ず試験終了後は配布された解答を見て自己採点をするように今から心がけましょう。そして重要なのは、模擬試験をやったやりっぱなしでなく、間違った問題やできなかった問題は、「間違い直しノート」に、わからないところは解説を見ながら必ず解き直すことです。そして自分の弱点を一つ一つ、つぶしてゆくのです。

また、模擬試験の結果から「自分はどの分野が弱いのか」を掴み、今後の学習の計画や軌道修正をしていく参考にすることも大切な模擬試験の活用法です。

更に今回の2回の模試を受けることで初めて国公立大学のドッキング判定（現時点での）が出てくるので、現在の自分の全国での位置を知ることができます。模擬試験の結果から志望校との埋めるべき差（得点・偏差値）を掴んで、学習計画を立てて学習することも大切なことです。

◎ 保護者の皆様へ



昨年中は学校教育活動並びに学年経営にご協力とご支援をいただき大変ありがとうございました。特に高校生活最大の行事の修学旅行・海外研修につきましては保護者の皆様のご理解とご支援をいただき、お子様たちは貴重な体験をして、ひとまわり人間的にも成長したように思います。

さて、早いものでお子様たちは、いよいよ3年生となります。今後は進路について今まで以上にご家庭で話し合いながら決定する事柄が数多く出てまいります。ご家庭におかれましてもお子様との話し合いの場を多く設けていただき、お互いに共通理解をはかり、お子様のサポートをしていただきますようご協力をお願いいたします。

私たち学年団も保護者の皆様と手を携えて、お子様の充実した学校生活と進路実現の達成に向けて努力いたしますので、今後ともご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

また、今年も学年通信「緑樹Ⅱ」をご愛読ください。

